

2010年 新春のご挨拶

雨岳文庫も5年目の春を迎えました。思えばこの4年間、会員をはじめ周囲の皆さまのお蔭で、雨岳文庫および山口家住宅もずい分整備されてきました。

実は昨年後半の行事報告を21年中にする予定でしたが、新春のご挨拶とともに21年後半のご報告をし、あわせて22年前半のお知らせをさせていただきます。

<雨岳文庫代表 山口匡一>



門松 作、ボランティア瀬戸隆志さん

芋ほりと竹や木の実で遊ぶ!

〔10月18日(日)〕

親子、家族約120名雨岳文庫の前庭に勢ぞろい。農業体験で掘ったさつまいもを焼き芋にしたり、収穫してあった落花生と御近所から差し入れていただいた银杏・胡桃を煎って食べたり。一方では庭に生えている竹で作った竹とんぼやどんぐり、椎の実、栗の実で風車や人形等の細工を楽しみました。



竹とんぼ、飛んだ、飛んだ！
良く飛ぶように修理屋さん
大忙し！



山王中東門のそばの畑で



江戸時代の鉄の「煎り鍋」を
持ち出し、落花生や银杏をい
りました



どんぐり細工

お母さんのほうが熱心で

家族そろって土塀造り〔11月1日(日)〕



文化庁の助成事業の続きで今年度も2回目の土塀造りをしました。講師は昨年と同じ村山謙一さん(瓦師)です。

参加者は、大人20名、子供18名でした。

今年は壁に風穴を開けたりして、昨年とは少し趣の違った土塀になりました。

それと、茅ヶ崎の左官職人石井さんが泥団子を磨いて見せてくれました。これは大津磨きと云う技術だそうで、かなりの人気を呼びました。



※ この瓦は幕末慶応の頃買い付けて明治の初めから屋根に載せていたものが、関東大震災(大正)で崩れ、庭に埋まっていたのを村山さんと雨岳文庫クラブで掘り起こし土塀に積みました。

その他、土塀の基礎は、高平忠さんが中心になって雨岳文庫クラブで造りましたので、報告しておきます。

建物の一般公開〔11月3日(火)〕



文化財保護強化週間に合わせ伊勢原市文化財課主催による初めての文化財住宅（山口家住宅）の見学会がありました。市で委嘱された歴史アドバイザーの方々とともに、雨岳文庫クラブも一緒になって約140名と多数の見学者に対応して、各部屋の説明、案内を担当しました。

上記以外の事業記録

① 雨岳文庫データベース試験的公開

雨岳文庫歴史資料の一部デジタル化事業の一環として、当会HPのトップページより神奈川工大図書館の『雨岳文庫データベースへ』へリンクをはる。11/7には、上記事業の中間報告を兼ねた講演会を神奈川工大のA.V.ホールで行い、当会の野崎昭雄氏が講演。

※ 野崎氏：当会会員。元東海大学教授（図書館学）

② 県立歴史博物館特別展『福沢諭吉と神奈川』へ資料を出展。資料担当、上記野崎氏

③ 衆議院の憲政記念館の『激動の明治国家建設特別展』へ資料を出展。資料担当野崎氏

④ 以前より行われている神奈川県立公文書館に依る古文書の調査が今年も11月、12月に実施、昨年より当会会員の宮崎、田中両氏と文化財協会の沖山氏が参加し、調査に協力しています。



大山道展、閉幕

7月19日から始まった「大山道展」が、11月23日（月）一応、終了しました。

今後は、2月の梅祭りから5月初旬のお茶づくりまで、当会の行事があるごとに開館しますし、団体等の入館希望者には、前もってご予約いただければ、都合がつく限り、対応します。

5月半ばより夏の間は休館とし、新しい展示は9月中頃より開館の予定です。

足掛け5ヶ月に亘る展示の間に約700名の方が見学にお見えになり、励ましの力をいただきました。また、伊勢原市を始め、神奈川県立の歴史博物館、公文書館、藤沢市立文書館等各種行政機関、資料を提供してくださった青木旅館、その他の方々、大山道の道標を修理していただいた石周さん、記念ウォークに協力いただいた観ボラの方々に感謝します。

それと、展示に携った、アドおおやまみち、雨岳雨岳文庫クラブの方々、どうもありがとうございました。【山口】

今後の行事予定（H.22年1月～）

- ① 初春の梅畑散策 2月の土、日、祭日
10:30～16:00 無料
- ② 相模人形芝居公演（国の重要文化財林座）
2月7日（日） 13:30～15:00
- ③ 菜の花畑散策 3月の土、日、祭日
10:30～15:00 無料
- ④ 子供のための お茶を頂く作法教室
3/7、3/28 午前、午後各1回ずつ
参加料 大人100円、子供 無料
- ⑤ NPO総会 4/18 午後（14:00予定）
- ⑥ 家族そろって竹の子堀り（掘って食べる）
4/25 参加料 1家族500円（含む、保険料）
- ⑦ 家族そろってお茶摘み・手もみ茶造り
5/3 参加料 1家族500円（含、保険料）

※ 行事の日は資料館開館（大山道展、ジオラマ）
（一般200円、中学生以下無料）

行事予定の詳細は雨岳文庫へ

TEL 0463-95-0002（山口）

近隣の歴史探訪 大山二の鳥居

山口家の西側の大山阿夫利神社参道脇に立つ石の鳥居です。嘉永四年（1851）当所の地頭間部詮昌再建、両側の石柱には間部氏の名前のほか、近在の多くの人たちの名前が記されており、遠くは三浦人の寄進もあったようで、大山信仰の深さを知ることが出来る貴重な文化財と言えます。 【原】



十一月中旬、みどりのまち振興財団から頂いた季節の花の苗を地元の衛生委員と当クラブの会員で鳥居の周りに植えました。